

## 「長浜小学校の長浜小波濤太鼓伝承活動の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立長浜小学校

### 2 学年・人数

4・5・6年生（計15人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和2年11月～12月，令和3年1月～2月 長浜小学校体育館

#### (2) 発表の日時・場所

令和3年2月13日（土） 長浜小学校学習発表会 （長浜小学校体育館）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### (1) 名称

長浜小波濤太鼓（ながはましょうはとうだいこ）

#### (2) 由来

波濤太鼓は昭和59年，地域おこしの一環として，「新たな郷土芸能を」と青年層を中心に発足した。その後，小学校高学年をメンバーとして団を結成し，毎年，学習発表会等で披露するようになった。今年度で発足35年目を迎える。

#### (3) 構成等

冬の荒れ狂う海の壮絶さと，どこまでも青く澄んだ海の穏やかさをイメージして作られた勇壮な太鼓である。

前列に3張りの締太鼓，中列に4張りの中太鼓，後列に3張りの大太鼓を配置し，中・大太鼓は1～2人で叩き合う。約8分間の演奏である。

### 5 保存会や地域との連携の具体

地域の継承者が指導者となって小学生を指導している。現在中心となる指導者は1人である。多忙な仕事の都合をつけて，定期的に指導に来てくださる。（学校と指導者で連絡を取り合い，練習日時等を決定している。）

学習発表会や地域行事等での発表に向けて，概ね3か月くらい前から，週2回程度練習を行っている。1回の練習時間は1時間であり，教職員も参加をしている。初心者に対しては，パチさばきからリズムなど指導して下さり，リズムをしっかりと身に付けるまで，熱心な指導がなされる。また，昼休みには自主練習もあり，教職員が毎回指導に当たっている。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながら継承していくために，毎年5・6年生がメンバーとなっている。人数が10名に満たない本年度は，4年生も参加することになったため，教職員も毎回，指導者のサポートをする等，学校全体で取り組んでいる。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



体育館での放課後練習の様子（今年度）



学習発表会での発表（昨年度の様子）

## 8 参加児童生徒・保護者・教員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 波濤太鼓はすごく迫力があります。だから、太鼓を叩けるのをとても楽しみにしていました。一生懸命練習して、みんなが「すごい」と言われるようにがんばりたいです。
- ・ 長浜小学校に受け継がれている波濤太鼓を叩けることをうれしく思っています。本番の学習発表会に向けて、すばらしい演奏ができるようにがんばります。
- ・ 長浜小波濤太鼓は、長浜小学校に伝えられている大切な伝統芸能なので、これからも続くように、後輩たちに引き継いでいきたいです。

### 【保護者】

- ・ 子供が真剣に太鼓に打ち込んでいる姿を見て、頼もしく思います。学習発表会での発表が楽しみです。

### 【教職員】

- ・ 体育館から太鼓の音が聞こえると、「練習が始まった」という感じがします。また、子供たちの精一杯の様子にいつも感動します。長浜小学校のよき伝統として、これからも受け継がれていくことを願っています。
- ・ 子供たちの指導が大変ですが、日々の練習で上達する姿に感動します。本番の学習発表会でも素晴らしい発表を期待しています。

### 【地域の方】

- ・ 地域の伝統文化として波濤太鼓が継承されていることを素晴らしく思います。今後も長浜小の学習発表会での発表を期待しています。